

日本の訓練／検定協力の取組等を少しでも多くの方にご理解いただくために、J-Skills Newsを発行します。

□活動対象4ヶ国で、2024年度実施計画についての協議を実施

「技能評価システム移転促進事業（SESPP）」では、日本式技能検定のノウハウを海外に移転することを目的として、対象国において各種研修を実施しています。

事業の効果的・効率的な実施を図るため、今年度の活動対象国であるラオスと5月23日(木)、インドネシアと6月7日(金)、ベトナムと6月18日(火)、カンボジアと7月31日(水)にそれぞれ各国政府人材開発部局や事業協力機関と厚生労働省及びSESPP事務局を中心に当年度の実施計画についての協議を開催しました。インドネシアとはオンラインでの実施となりましたが、ラオス、ベトナム、カンボジアは現地での対面協議を実施し、活発な意見交換を行うことができました。

協議では研修・セミナー及びトライアルの対象職種・等級、参加者、スケジュール、事業の達成目標やその手順等の調整を行い、実施方針を決定しました。各国の実施方針とポイントは以下のとおりです。

【ベトナム】

・昨年度と同様ベトナムでは新政令に基づきODA事業承認手続きが必要となっているが、承認手続きが複雑になり、かつ、承認に要する期間が長期化しており、ベトナム政府を通しての事業実施が困難な状況となっている。このため、南部のやグエンタットタン大学、ドンナイ大学及び過去育成した評価者などに協力をいただき、業界検定として事業を進めることとした。

技能検定

- ・機械検査2級の技能評価技法研修(SEM)と技能評価トライアル(SET)
- ・シーケンス制御2級の技能評価技法研修(SEM)と技能評価トライアル(SET)

【カンボジア】

技能検定

・電気系保全2級、配電盤・制御盤組立て2級及び機械検査3級の3職種で技能評価トライアル(SET)と評価者認定(SAC)を行い、認定評価者誕生に向けた取組みを行う。

技能競技大会

・2021年より実施している情報ネットワーク施工職種の総仕上げの年としての支援を行い、将来的にカンボジアでの国内技能競技大会を自立運営できる人材の育成を行う。本年度開催される国内技能競技大会では模擬競技として実施することを目標とする。

【インドネシア】

技能検定

・機械製図(CAD作業)2級の技能評価者講習(SAT)と技能評価トライアル(SET)を行う。
当該職種に関しては、2022年度に4名の認定評価者が誕生しているが、自立的かつ継続的に実施できるように、認定評価者を増やして実施体制の強化を図る。

【ラオス】

技能検定

- ・配電盤・制御盤組立て作業は、3級の職業訓練技法(VTM)と2級の技能評価者講習(SAT)を行う。(VTMは3級受検者が合格レベルに達するよう、評価者の指導力の向上を目指して実施するものです。)
- ・機械検査3級は、技能評価者講習(SAT)と技能評価トライアル(SET)を実施する。



対象国協議の様子(ラオス)



対象国協議の様子(ベトナム)



対象国協議の様子(カンボジア)

□活動対象国関係各所への訪問記録

対象国協議で各国を訪問した際に、現地のものでづくり産業や産業人材育成の現状に関する情報収集、SESPP事業の広報を目的に、日系機関や日系企業を訪問しています。本年度も昨年度に引き続き、様々な機関、企業を訪問し、情報共有をいただきました。

【ベトナム：グエンタットタン大学(NTTU)】

シーケンス制御2級の研修実施会場として協力をいただいている、グエンタットタン大学を訪問し、本事業との協力体制の協議と同校の研究施設の視察を行いました。

AI、IoT、バイオ燃料、グリーンエネルギー等の先端技術の研究開発を中心に行っており、学生の教育機関と研究開発機関としての双方の役割を担っているとのことです。

NTTUの施設は国家予算を中心に建設はされましたが、運営は国の予算ではなく、企業との連携での開発協力や、学生からの学費により、独立採算で運営しているとのことです。



NTTUの研究施設風景

【ベトナム：ダイカスト関連日系企業】

ホーチミン市の東部に位置するドンナイ省のロンドゥック(LONG DUC)工業団地内にある、PEGASUS-SHIMAMOTO AUTO PARTS VietNam社を訪問し、本事業でのダイカスト職種の研修の実施の可能性について意見交換をしました。

同社は自動車関連部品を製造しており、ダイカスト関連の技能検定の実施を希望しており、かつ同工業団地内には、アルミダイカストにて部品製造を行っている企業が5社あり、協力し合ってダイカスト職種の技能検定の研修実施を希望いただきました。

ベトナム国内には日本の大手ダイカストマシン製造企業の営業拠点もあり、そのような企業の協力を得ることができれば、業界検定という形で実施することも考えられ、ベトナムにおける新たな形の支援として期待されます。

また同社担当者から、技能検定のような資格制度があれば、採用・人事に携わる企業、実際に働く技能者の双方にメリットがあるとのことをご意見をいただき、日本式技能評価制度の移転の重要性を再認識しました。

その他、各国のJICA事務所、JETRO事務所、日本人商工会議所や過去技能評価トライアルに技能労働者を受検者として派遣いただいた日系企業を訪問し、本事業の概要・実施計画や各国のものでづくり産業人材育成の現状について意見交換を交わしました。

□ 2024年度の技能評価システム移転促進（SESPP）事業の実施計画

本年度は、ベトナム、カンボジア、インドネシア、ラオスにて以下の現地研修を予定しております。技能評価トライアル（SET）では評価者向けの研修と労働者や学生を受検者とした模擬検定を実施します。トライアルへの参加、見学のご希望があれば、SESPP事務局までメールにてご連絡ください。ただし、機材の関係等で定員が限られております。ご希望にそえない場合がございますのでご了承ください。

セミナー・トライアル	実施時期	実施場所
■ ベトナム ・機械検査2級SEM/SET ・シーケンス制御2級SEM/SET	10月18日(金)～10月22日(火) 12月23日(月)～12月27日(金)	ドンナイ大学 グエンタットタン大学
■ カンボジア ・配電盤・制御盤組立て2級SET/SAC ・電気系保全2級SET/SAC ・機械検査3級SET/SAC ・情報ネットワーク施工AMM ・情報ネットワーク施工(国内技能競技大会模擬競技)	12月9日(月)～12月13日(金) 2月3日(月)～2月7日(金) 2月17日(月)～2月20日(木) 9月23日(月)～9月27日(金) 10月23日(水)～10月24日(木)	産業技術大学(ITI) 国立技術訓練大学(NTTI) カンボジア国立ポリテク大学(NPIC) カンボジア国立ポリテク大学(NPIC) TVET-PARK
■ インドネシア ・機械製図(CAD作業)2級SAT/SET	1月20日(月)～1月24日(金)	松下グローバル財団 (YMG) ハイテク金型センター(HTMC)
■ ラオス ・機械検査3級SAT ・配電盤・制御盤組立て作業3級VTM、 2級SAT ・機械検査3級SET	9月23日(月)～9月27日(金) 11月2日(土)、 11月4日(月)～11月8日(金) 1月13日(月)～1月16日(木)	技能開発院(SDI) 技能開発院(SDI) 技能開発院(SDI)

SAT : Skills Assessor Training (技能評価者講習) 技能検定試験を実施・運営する評価者を養成するセミナー

SEM : Skills Evaluation Method (技能評価技法研修)

基準と細目に基づく、学科・実技試験問題の作成と、実技試験の採点要領と実施要領の作成方法を学ぶ研修

VTM : Vocational Training Method (職業訓練技法研修)

標準作業書(作業手順書)の作成方法を学び、実践を通して技術を向上させる研修。

SET : Skills Evaluation Trial (技能評価トライアル) 技能検定試験などを現地で試行的に実施

SAC : Skills Assessor Certification (技能評価者認定)

SETにおいて認定対象者を講師が一定の基準により評価し、基準を満たせば認定評価者として認定

AMM : Assessment and Marking Method (競技課題採点・評価方法セミナー)

技能競技大会を実施・運営する人材を育成するセミナー



技能評価トライアル実施風景
(ベトナム機械検査/実技)



技能評価トライアル実施風景
(カンボジア配電盤・制御盤組立て/実技)



技能評価トライアル実施風景
(カンボジア電気系保全/学科)

■ 2023年度(令和5年度)日本の技能検定実施状況について

2023年度は809,672人が受検し、うち356,162人が合格して「技能士」の称号を手に入れました。創設当初からの合格者の累計は8,721,187人にのびます。2023年度は2022年度(令和4年度)と比較して受検申請者数が6.9%の減少、合格者数が1.0%の減少となりました。

2023年度を等級別にみると受検者が最も多かった等級は2級でした。職種別に見ると受検者が最も多かった職種は、ファイナンシャル・プランニングで、以下、機械保全、とび、機械加工、知的財産管理と続いています。

◆ 等級別の実施状況

等級 (技能検定の合格に必要な技能及び知識)	受検申請者数 (令和4年度比)	合格者数 (令和4年度比)	合格率 (令和4年度)
特級 (管理者又は監督者に必要な技能及び知識)	4,328人 (-2.2%)	1,373人 (-3.2%)	31.7% (32.1%)
1級 (上級の技能労働者に必要な技能及び知識)	81,569人 (-12.7%)	26,372人 (-18.5%)	32.3% (34.7%)
2級 (中級の技能労働者に必要な技能及び知識)	303,003人 (-11.6%)	88,017人 (-11.2%)	29.0% (28.9%)
3級 (初級の技能労働者に必要な技能及び知識)	282,134人 (-7.6%)	154,324人 (-5.4%)	54.7% (53.4%)
単一等級 (等級に区分していない職種で、1級相当の技能及び知識)	2,941人 (+16.7%)	1,663人 (+29.5%)	56.5% (51.0%)
合計	673,975人	271,749人	—

※上記に加え、技能実習生を対象とした検定が有り(基礎級、随時3級、随時2級)、2023年度は135,697人が受検し、84,413人が合格しています。

◆ 受検申請者数の多い職種(全等級合計)

職種名	受検申請者数	令和4年度比	合格者数	令和4年度比
ファイナンシャル・プランニング	472,050人	-12.6%	169,849人	-11.7%
機械保全	32,427人	-0.8%	15,160人	+10.9%
とび	18,942人	+7.1%	11,142人	+32.4%
機械加工	18,439人	-3.2%	10,965人	+6.2%
知的財産管理	17,549人	+4.2%	8,601人	+5.3%

(参考)厚生労働省報道発表資料 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_41729.html

発行：SESPP事務局(株式会社JTB 霞が関事業部)

『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局 (株式会社JTB 霞が関事業部)

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階
 TEL : +81-3-6737-9263 FAX : +81-3-6737-9266
 担当 : 近藤・池田・岩下
 E-mail : sespp@jtb.com